

# 中間報告（骨子）（案）

- 1 はじめに
- 2 大規模災害時において消防団の果たすべき役割
  - (1) 最初から最後まで
  - (2) 実に様々な活動に従事－地方自治の原点、地域コミュニティの核
  - (3) 自助、共助、公助－地域の総合防災力向上における消防団の役割
- 3 東日本大震災における教訓と消防団員の安全確保対策等
  - (1) 消防団員に多くの犠牲者が出た要因
    - ① 想像を超えた津波
    - ② 津波の最前線－危険がひっ迫した状況での対応力を超える任務
    - ③ 情報の不足
    - ④ 地域住民の防災意識の不足
  - (2) 津波災害時の消防団員の安全確保対策等
    - ① 消防の安全管理と津波対策等
    - ② 津波災害時の消防団活動の極小化及び撤退基準の確立
      - ア 津波災害時の消防団活動の極小化
        - (ア) 水門・陸閘の閉鎖活動の極小化
        - (イ) 避難誘導活動等の極小化
        - (ウ) 関係機関や地域の協力の促進
      - イ 撤退基準の確立
    - ③ 情報伝達手段の多重化
    - ④ 消防団の装備及び教育訓練の充実
    - ⑤ 住民の防災意識の向上、津波に強いまちづくり
  - (3) 消防団員の惨事ストレス対策
- 4 消防団員の処遇改善及び確保策の推進等
- 5 住民の防災意識の向上
- 6 最終報告に向けて